



「1年生を迎える会」を通して

学校長 外山 芳

4月は新しい学年のスタートとともに、様々な行事が続き、あっという間に過ぎていきました。東門近くの桜の木は鮮やかな新緑となり、気付けば暦は5月に入ろうとしています。そして、子どもたちは新しい環境にも少しずつ慣れて、元気いっぱい。学習も運動も全力投球。自分らしさを発揮し始めています。

先日、「1年生を迎える会」が行われ、全校で新しい仲間入学をお祝いしました。この日のために、実行委員の子どもたちは、会の目的、進行や出し物などについて話し合いを重ね、1年生が安心して楽しめる会になるよう、準備を進めました。当日は、1年生とつながりをもてるためのレクリエーション、メッセージ、プレゼント、校歌など、心のこもった出し物を披露しました。1年生は全校の子どもたちに優しく迎えられたことをとても喜んでいました。わずかな時ではありましたが、全校で温かい雰囲気を共有し、学年を超えてみんながつながる、大切な時間となりました。

学年を超えてつながることは、子どもたちが「自分は誰かの役に立てる」「誰かに支えられている」という実感を得る大切な機会です。高学年の子どもたちは、低学年の子どもたちの手本となる行動を意識することで、自分自身の成長につながります。また、低学年の子どもたちは、高学年の子どもたちの優しさや励ましを受けながら、安心して学校生活に踏み出すことができます。このような関わりは、単なる行事の一場面にとどまらず、学校全体の雰囲気や文化を創る大切な土台となります。そして、学年を超えたつながりが広がることで、子どもたちは自己有用感を高めるとともに、互いを尊重し、支え合う力を育てていくことでしょう。

さて、学校説明会では、昨年度の横浜市学習状況調査の結果等から本校の成果と課題をご説明しました。

それらを踏まえて、学校教育目標「向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷」を目指すために、今年度、重点的に取り組みたいこととして「学力向上」「豊かな心の育成」「心と体の健康」の具体についてお話をいたしました。今回の「1年生を迎える会」は、「豊かな心の育成」につながる行事の一つです。これからも様々な行事や学校の教育活動全般を通して、子どもたちが、「自分自身のよいところを見つけ」、「互いを認め合い」ながら、「自分らしく学び続ける」こと、すなわち、本校の重点的な取組の一つ「豊かな心の育成」につながることを願っています。



1年生に贈られたプレゼント
心温まるお手紙とあさがおのたねです。